

19 会津地域の「アオバコムギ」品質向上のための栽培法

福島県農業試験場会津支場・平成12年度農業試験場試験成績概要

1 部門別 普通畑作物－小麦－施肥法 分類コード 02－02－13670000

2 担当者 渡部 隆・齋藤正明・山田英雄・大谷裕行

3 要旨

会津地域は、小麦のタンパク質含量が上がりにくい地域であり、「アオバコムギ」の栽培には不利な地域と考えられる。そこで、「アオバコムギ」の品質を向上させるための栽培法を検討した。

(1) 幼穂形成始期の追肥は、増収効果が高いが、生育量が大きくなり、倒伏を助長し、品質がやや低下する傾向が見られた。出穂期の追肥は、増収効果は小さいが、硝子率が顕著に上昇し、品質が向上した。

(2) 播種量を減らして、越冬前の生育量を抑え、越冬後に幼穂形成始期追肥＋出穂期追肥を施用した区は、収量・品質とも優った。

(3) 以上のことから、播種量等によって幼穂形成始期前の生育量を制御し、追肥を幼穂形成始期と出穂期の2回施用できるような麦づくりを行えば、収量・品質とも高くなると考えられる。また、生育過剰により倒伏が懸念される場合には、幼穂形成始期追肥を控え、出穂期追肥のみを行うことにより、品質向上が期待される。

4 主な参考文献・資料

(1) 東北農業試験場研究資料第19号：1996（東北地域における高品質コムギ栽培技術）